

# こまちちゃんバス見直し デマンド交通(乗り合いタクシー)付加

市議会全員協議会

市はこまちちゃんバスを全廃して、福祉・割引タクシー券制度にしていくことを提起して住民説明会を行ってきましたが、意見や要望を踏まえて、対策案としてデマンド交通を導入することになりました。

## こまちちゃんバス見直し案の修正案

バスの頻繁な利用者は、割引タクシー券があったとしても運賃負担や上限枚数の関係で、これまでのような外出が難しくなる。この課題に対処するため、生活に必要な最低限の通院や買い物を行えるデマンド交通を導入します。

運賃は1乗車400円程度としていきます。乗車日の前日午前9時から午後4時の間に予約が必要です。タクシー会社で運行を管理します。

### 説明会では

### バス存続要望の声

地域説明会は、12会場で20回開催、参加者は177人、団体など20カ所と電話と合わせ640人との意見交換でした。

その一部は駒ヶ根民報でもお知らせしましたが、意見、要望や課題が出されました。

割引後でもタクシー代の負担ができない。通院や買い物の利用頻度にたいしてタクシー券の枚数が少ない。

65歳未満のバス利用者支援策が限定的。運賃値上げしてもいいからバスを存続してほしい。通勤・通学でも利用できるようバス運行を継続してほしい。賛成意見もありましたが、突然の廃止で先が見えない、などの意見でした。

市議会報告会でも、通学で親の負担が今でも大きく厳しい

のでバス全廃は見直すべきだとの声がありました。市では、説明会から浮かび上がった課題として、家計状況や利用する頻度により通院や買い物で困る人が生まれる。最大

市内を5エリアに区分し、各エリア週2日・2往復運行した場合の、運行日程の例

エリア	第1週	第2週	第3週
A 中沢・下平	月曜と水曜	火曜と木曜	水曜と金曜
B 東伊那・下平	月曜と木曜	水曜と金曜	月曜と水曜
C 町・上穂・小町屋	火曜と木曜	水曜と金曜	月曜と木曜
D 上赤須・市場割・福岡	火曜と金曜	月曜と水曜	火曜と木曜
E 北割・中割・南割	水曜と金曜	月曜と木曜	火曜と金曜

348人が交通の足を失う可能性とみえています。そして将来の公共交通に対する不安感や突然のバス廃止で先行きが見えないことが課題としています。

### 利用しやすく、乗ってもらえる制度に

### てもらえる制度に

市民なら誰でも利用可能。利用者は事前に、市に登録します。

平日のみ運行(土、日、祝祭日、年末年始を除く)

運行日程の案は、エリアを5つに分けてあり上の表の通りです。定時の始発で往路は8時、10時、始発。復路は12時、14時との現在の案です。

さらに利用者の意見を聞いて使用しやすいように、また運行日程についても検討が必要です。

共産党議員団は議会の場合でも民報でも公共交通としてのバスやタクシーの果たす役割と意義を強調しバスの存続を何らかの形で残すよう求めました。

市民や利用者の声がさらに生かされるように取り組みます。

## 駒ヶ根駅無人化に 憤りを感じる

全員協議会で市長に、JR東海が飯田線駒ヶ根駅員廃止を伝えて来ていることに対しての現在の対応を求めました。市長は憤りを感じている、市内の駅前も整備してきた。返答期限をのばしても交渉していくとしました。



## 衆院長野5区 「三沢よしお」予定 候補が、TPP断固 阻止で農協と懇談

総選挙の大きな争点になっていて、農協中央会でもTPP反対の候補者を推薦するとしています。

「三沢よしお」さんと共産党市議団と元県議の林奉文さんで、JA上伊那、駒ヶ根支所と駒ヶ根東支所を訪問して協力・共同の申し入れをしました。政治家はTPPはどういうものかわかっていないのではないかと、もっと土と水、食料を大事にする政治をしていくことで懇談し共感しました。